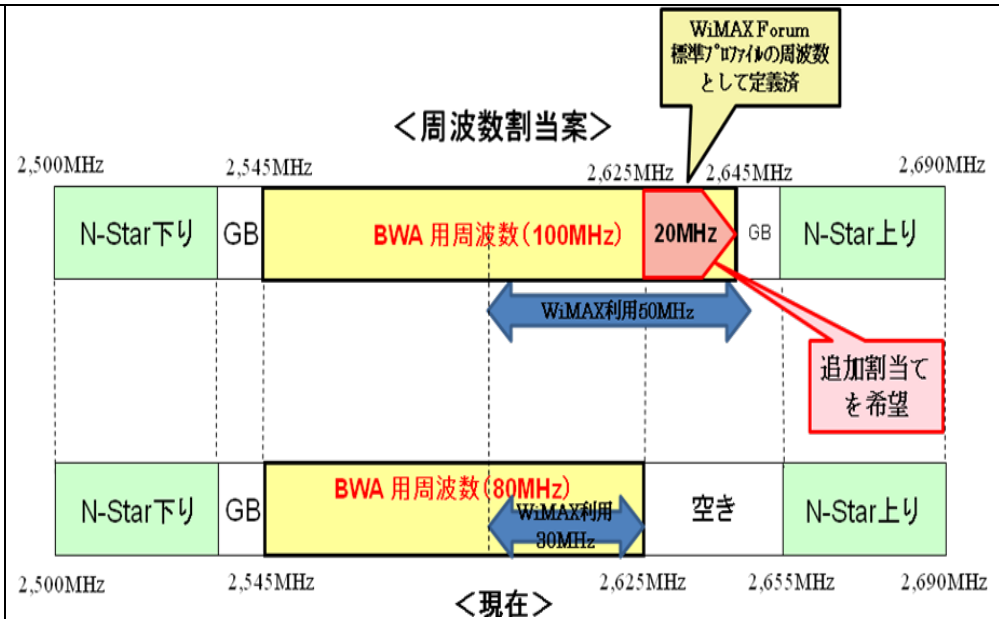


## 再意見提出フォーマット

再意見提出者	UQコミュニケーションズ株式会社
--------	------------------

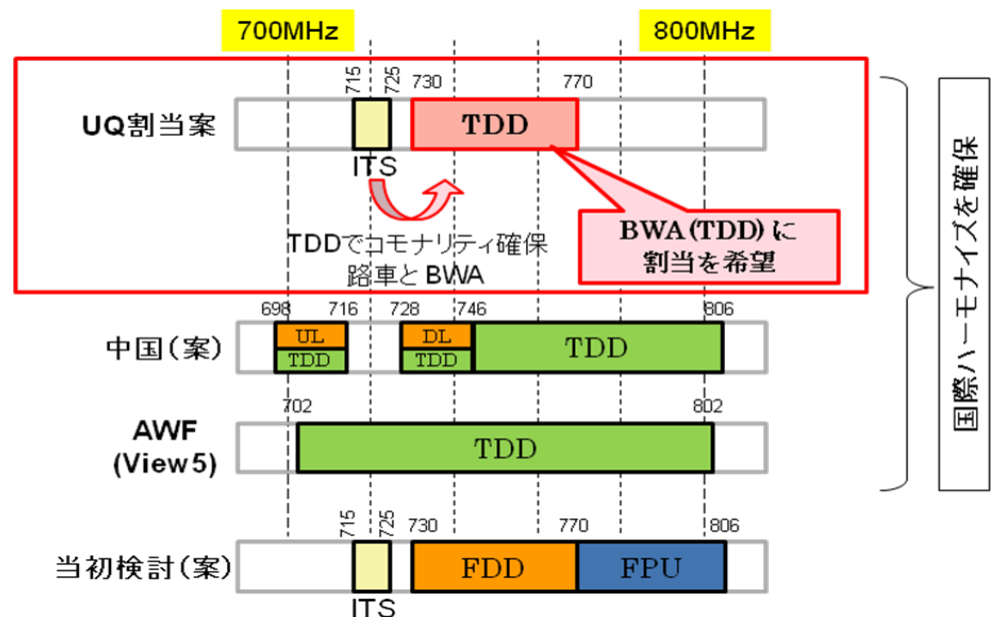
意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題	<p>平成22年6月14日付弊社意見書にて述べたとおり、現在提供しているWiMAX(IEEE802.16e)サービス(下り40Mbps、上り10Mbps)を光並サービス(下り330Mbps、上り110Mbps)の提供が可能なWiMAX 2(IEEE.802.16m)に高度化するために、また、サービスエリアを拡大・充実するために以下のとおり2.5GHz帯及び700MHz帯周波数の割当てを希望致します。</p> <p>また、新たな周波数の割当てに加えて、電波利用料の使途としてBWAエリア整備支援を追加して頂くことにより、条件不利地域を含めてサービスエリア拡大が促進されるものと考えます。</p> <p>(1)2.5GHz帯</p> <p>①周波数帯域：2.5GHz帯</p> <p>②周波数幅：既存割当周波数と連続した20MHz(2,625MHz～2,645MHz)</p> <p>③通信方式：WiMAX 2(IEEE802.16m)</p> <p>④割当希望時期：2011年度初(2012年度からの導入に間に合う時期)</p> <p>⑤利用目的：・高速化ニーズへの対応(下り330Mbps、上り110Mbps)</p> <p>・周波数有効利用度の更なる向上によるトラヒック増対応</p> <p>・全国エリアで利用</p> <p>※2.5GHz帯における具体的な周波数割当て希望</p>



(2)700MHz帯

- ①周波数帯域：700MHz帯
- ②周波数幅：40MHz (730MHz～770MHz)
- ③通信方式：WiMAX 2 (IEEE802.16m)
- ④割当希望時期：2012年度後半
- ⑤利用目的：・ルーラル地域
  - ・屋内対策を優先し最終的には全国エリア
  - ・40MHz幅が付与されれば高速化可能

※700MHz帯における具体的な周波数割当て希望



<p>(3) 関連する国内外の動向と課題</p>	<p>周波数割当てにおいて考慮すべき国際的な整合性については以下のとおり考えます。</p> <p>①ワイヤレスブロードバンドの早期普及や高速化ニーズ、トラヒック対策等の必要性に鑑み、国際的な整合性が取れ、かつ、早期に利用可能な空き周波数帯域を優先して割当てすべきであると考えます。</p> <p>②当社が希望する周波数割当てについては国際的な整合性が取れた周波数帯域となっています。</p> <p>※WiMAX ForumにおけるProfileではWiMAX用周波数として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Class3: 2,496MHz～2,690MHz(スキャンリストに各チャネルの中心周波数が定義済)</li> <li>・Class7: 698MHz～960MHz</li> </ul> <p>が規定されており、当社割当案の周波数帯域はこの範囲内に入っています。</p> <p>現在普及しているClass3端末は、2.5GHz帯全域をサポートしており、周波数の追加割当てが実現すれば現行のWiMAX端末もそのまま利用することが可能となります。</p> <p>③特にWiMAX 2は現行WiMAXサービスとの互換性を確保した仕様となっており、国際的な整合性が取れた周波数・通信方式とすることにより、WiMAX 2サービス開始以降も開始以前に普及した国内外のWiMAX端末が引き続き利用可能となります。</p> <p>④上記のとおり周波数及び通信方式において国際的な整合性を取ることで、通信機器等調達コストの低減、端末の共通化、容易なローミング提供、近隣する諸外国との干渉調整の問題回避等のメリットがあると考えます。</p>
--------------------------	---

意見募集において寄せられた意見に対する意見

No.	意見提出者	寄せられた意見に対する意見内容

以 上